

2022年3月6日
礼拝

祈り

聖書

ローマ人への手紙5章6～11節

5:6 私たちがまだ弱かったとき、キリストは定められた時に、不敬虔な者のために死んでくださいました。

5:7 正しい人のためにでも死ぬ人はほとんどありません。情け深い人のためには、進んで死ぬ人があるいはいるでしょう。

5:8 しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

5:9 ですから、今すでにキリストの血によって義と認められた私たちが、彼によって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。

5:10 もし敵であった私たちが、御子の死によって神と和解させられたのなら、和解させられた私たちが、彼のいのちによって救いにあずかるのは、なおさらのことです。

5:11 そればかりでなく、私たちのために今や和解を成り立たせてくださった私たちの主イエス・キリストによって、私たちは神を大いに喜んでいるのです。

説教
現された神の愛

今回は5章2節を中心に
神の栄光にあずかる事を学びました。
ローマ書5章は何度読み返しても味わいある箇所です。
今日は現された神の愛
について学んで行きたいと思います。

5:5 この希望は失望に終わることがありません。
なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、
神の愛が私たちの心に注がれているからです。

失望に終わる事の無い希望は神の愛に
支えられています。

昨日のライフラインで
希望は空気の中にある酸素のようだ。
目には見えませんが酸素があるから生きています。
酸素が欠乏すると息苦しくなり、
無くなると生きて行くことが出来なくなります。
人生に希望は目に見えなくても
大切な要素です。

この希望が失望に終わることが無い、
裏切られることが無い、
期待外れに終わらない保証は
聖霊によって神の愛が私たちの心に注がれているからです
と約束されています。

この希望を保証する愛はどんなものか、
6節から愛について書かれています。

この希望は練られた品性によって生み出されています。
新改訳聖書では「練られた品性が希望を生み出す」と訳されています。
新共同訳聖書では「練達は希望を生む」、大正訳聖書も「練達」と訳しています。
英語のNIVと言う訳では「キャラクターはホープを生む」と訳しています。

英語の「character」は、「彫る」「刻印の道具」を意味する
ギリシャ語に由来する。

それが「印刻」「印象」の意味に転じ、「表徴」「記号」「文字」。
さらに「性格」や「性質」を意味するようになった。

元々刻印を現す言葉が、
その人の人格に切り刻まれている
品性、人格、個性などを現している。
その人の特性が心に刻まれている事から
キャラクターは個性、性格などを現すようになった。
他の人とは異なる人格がその人に刻まれている、
刻印されている、

信仰によって義とされました。
救いの恵みに信仰によって入れられました。
この恵みを受けた新しい人生は
練達、練られた品性、新しいキャラクター、
新しい個性、品位に導かれていきます。
新しい個性、品位が心に刻み込まれて成長し、
現れて行きます。

1:13 この方にあつてあなたがたもまた、真理のことは、あなたがたの救いの福音を聞き、またそれを信じたことにより、
約束の聖霊をもって証印を押されました。

1:14 聖霊は私たちが御国を受け継ぐことの保証です。
(エペソ1章13節)

ここに心に証印が押された、刻印された。
牛や羊に所有者を現す焼き印が押されます。
私たちも信仰によって神の子とされたので、
焼き印ではなく、聖霊の証印がしっかりと心に
押されて刻印されて
おまえは神様のものだと言われています。

ローマ5章でも信じた者、義とされた者には
聖霊による刻印が押されていることが証しされています。
ここでは所有を現すだけに刻印ではなく
神様の赦し、品性、御性質が
神の愛によって私たちに心に刻印されている事を
証言しています。

私たちの個性、人格、品位は
罪によって汚れ、ゆがみ、ひずんでいます。

怒り、ねたみ、情欲、
救われた私たちに神様のかたち、似姿の
刻印が聖霊によって押されました。

神様の愛が消えない刻印として
心に刻み込まれました。

神様は私たちを愛していて下さる、私たちは弱くても
不敬虔であっても、罪人であっても愛して下さる愛の証拠
の刻印をいただいています。

希望は何に依存しているでしょうか。
模擬試験の成績、偏差値、合格通知、
等は希望の材料です。

でもそれらが与えられない弱い者、弱い時であっても
心に刻まれた神様の愛、神様の言葉、約束が
新しい希望の根拠です。

外的な明るい希望の材料がなくても
心に刻まれた、刻印された神様の愛に立って希望に生きる
ことができます。

パウロは弱く、不敬虔、罪人、
キリストに敵対していました。

ステパノをリンチ殺人、石打をする時、
証人として、石打執行人の上着の番をしていました。

多くのクリスチャンを迫害していました。

ダマスコまで出向いてそのクリスチャンを捕縛するために出かけ
ました。

との時パウロはキリストにとらえられました。

パウロがキリストに敵対する行為を執行している時にも
キリストはパウロを見つめておられました。
愛して救いに入れる計画をしておられました。
この敵対者パウロのためにもイエス様は十字架で
死んで下さいました。

5:8 しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

この神の愛がパウロの心に刻印のように刻み込まれ、
パウロだけでなく

信じる私たち一人一人に刻まれ、
それが私たちのキャラクター、個性、品位になり
頭だけの信仰ではなく全人格的に
受け止める信仰となり

試練艱難の時も脱出の道があり、それらを生かしてくださる
信仰希望に生きることが出来ます。

罪人も赦されている、過去の失敗も赦され、
後悔しなくてもいいよ、という赦しの言葉が心に刻印され
て赦された心で、
赦された道を歩むことができます。
新たな週も希望を持って歩みましょう。

祈り